



誰もが安心して暮らせるまちづくり

健康・福祉と文化・スポーツのまち鳶巣

令和6年度 鳶巣地区戦没者追悼式を開催

3月20日(木)春分の日、令和6年度鳶巣地区戦没者追悼式を開催しました。今年は、曇り空の寒い日でしたが、鳶巣遺族会員、社会福祉協議会理事など総勢29名の参列で開催されました。霊雲寺ご住職による読経後、主催者の鳶巣地区社会福祉協議会園山会長が慰霊のことばを述べ、最後に参列者全員が焼香し、戦没者のご冥福をお祈りしました。

いつ終わるともわからない現在も続く世界各地での武力侵攻、紛争をニュース等で目にするたび犠牲者家族の深い悲しみを感ずます。争いのない平和な世界になるよう、また、今日平和に暮らせることへの感謝の気持ちを新たにしたい一日でした。

厳粛に執り行われた追悼式



～ ふれあいサロン研修にて発表 ～

11月1日(金)、出雲市社会福祉協議会主催による「ふれあいサロン研修会」が開催されました。鳶巣地区社協へ“ハナミズキ食堂”の取り組みについての発表依頼があり地区社協の園山会長と、原副会長が



参加しました。当日は雨の降るあいにくの天候となりましたが、多数の参加者を前に堂々と発表されました。他地区では子ども食堂といえども子どもたち中心ですが、当地区では誰をも対象としています。そのため、名前を”ハナミズキ食堂“としています。お昼ご飯を一人で食べておられる方も少なくないと思いますが、たまには大勢の人がいるところで、ワイワイ話しながら食べることも、リフレッシュになりいいのではないかと思います。TV・ラジオ等では「子ども食堂はみんなの食堂」と言っているのを聞きます。当地区はそれを実践している地域です。



表彰！おめでとうございます！



9月28日(土)松江のくにびきメッセで行われた、しまね県民福祉大会で鳶巣地区から1名表彰されました。

○島根県民生児童委員協議会会長表彰 主任児童委員 加納有美さん(前組)



お作法教室

～鳶巣幼稚園児の茶道教室～

2月4日(火)にコミセン研修室で、今年度最後の幼稚園児対象の「お作法教室」が開催されました。

今回は園児から保護者さんへ、保護者さんから園児へ抹茶とお菓子をふるまいました。お互いに緊張しながらも恥ずかしいような嬉しような表情で、保護者さんは子ども達の成長に満足そうでした。

手をついての挨拶の仕方、歩き方、茶碗や箸の持ち方、正座の姿勢などの基本が徐々に身につくにつれ、礼儀作法のほんの一部ですが今後役に立ってくれたら嬉しいです。



びよっ子教室(節分)



2月1日(土)節分に因んだ活動をしました。新宮副会長の穏やかで優しい語りの絵本や紙芝居は、子どもたちだけでなく大人も童心に返り心地よく響きました。大人になっておはなしをしてもらう機会は少ないですが、親子同じ空間でワクワク感の世界が広がっていきました。

そして、節分といえば“鬼”。親子で工夫しながらお面を作りました。できあがった鬼の面の顔はみんな可愛い♥できたお面をズラリと吊るして最後にはボールの“豆”で「おにはそとー」。開いた口の中に豆を入れた、大谷翔平選手みたいなお友だちもいました。スタッフの手作りおやつをお土産に、親子の嬉しい時間を過ごしました。



男の料理教室 ～ 親子でちゃんこ鍋 ～

12月21日(土)「親子でちゃんこ鍋」を開催しました。当日は雨の降る肌寒い日でしたが、参加者は総勢14名。普段料理をされないおじいさんと子どもさんと一緒にちゃんこ鍋をつくりました。

講師は鳶巣社協副会長の三島洪道さんをお願いしました。前の週のBBS交流会でちゃんこ鍋作りに参加していたこと、その時のレシピを使っての指導だったので、バッチリ!でした。参加者は2グループに分かれ、ワイワイがやがやとそれぞれの鍋を作りました。今まで料理教室に参加されたことがない方がほとんどだったのですが、とても和やかな雰囲気でした。

試食の時は、同じレシピなのに微妙に味が違うと、それぞれの鍋を味わっていました。



～高齢者見守り活動事業～ 鳶巣幼稚園児の作品を添えて！ ひとり暮らし高齢者のみなさんへのプレゼント

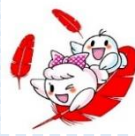
12月23日(月)・24日(火)地域での支え合いや声かけ訪問を目的として、8町内11名のひとり暮らしの高齢者宅へ町内福祉委員さんが訪問しました。鳶巣幼稚園児さん手作りの干支の置物とお菓子、靴下などを添えて贈りました。この事業はひとり暮らしの高齢者宅の年末声かけ訪問事業として毎年行っています。

幼稚園児さんの手作り作品に心がほっこり自然と笑顔になります。



ふれあいサロン会

～人と人のふれあう場、つながる場そして、
生きがいづくりの場～



鳶巣幼稚園、びよっこ教室、
サロン会のみなさんとの合同お楽しみ会・ひな祭り会を行いました。

【合同お楽しみ会】

12月6日(金)に「合同お楽しみ会」を開催しました。最初に、可愛い幼稚園児さんの元気いっぱいの歌とダンスに思わず笑みが……。続いて、**はぴねすバンド!!**さんによる楽しいコンサート。会場一体となつてとても楽しく歌ったり体を動かしたり、体も心も心地よくなりました(^o^)

園児さんはその後幼稚園に帰られ、少しすると……。サンタさんが現れ、びよっこ教室の子どもたちや、サロン会のみなさんにプレゼントが配られ、そのあとみんな一緒にケーキを食べました。皆さんとっても楽しい時間を過ごされていました。



【交流ひな祭り会】

3月3日(月)に「交流ひな祭り会」を開催しました。園児さんの歌や元気いっぱいの踊りに会場はみな笑顔が溢れました。続いて出雲市の図書館司書さん3人のおはなしユニット**TU**さんによる歌とおはなし。本の読み聞かせや、むかし懐かしい紙芝居もありました。園児さんや、サロン会のみなさんも見入っていました。いつものサロン会とはちょっと違った、でも楽しい会でした。



【町内とんどさんで交流会】

1月12日(日)に大寺谷町内で1月13日(月)は川北町内でとんどさん行事が行われました。12日は雨も上がり、インフルエンザの流行の心配もありましたが、多くの方に参加してもらい賑やかに何事もなく終わりました。13日は大風で、雨も降っていて準備が大変でしたが、町内有志で竹を切り高々としたとんどさんができました。参加者はインフルエンザの流行と子ども・高齢者の参加が少なかったが無事終えることができました。

最近町内の人との出会いや交流が少なくなってきましたが、久しぶりにみんなが集まれる場が良かったです。



【西林木サロン会での交流】

西林木サロン会は年6回、中組会館で開催しています。毎回16～18人の参加があり、みなさんサロン会の開催を楽しみにしておられます。

春には伊努神社の例大祭に男女混合合唱団として20名が参加し、夏の鳶巣まつりでは「竹内まりやさんと歌いたい」プロジェクトを立ち上げ、その思いをアピールしました。秋の鳶巣まつりでは文化祭の展示作品作成

「リユースで楽しい生活」をテーマにワイワイ大いに盛り上がりました。毎回大きな声で歌を歌って、みなさんとのたわいのない会話やむかし話に花をさかせています。



～ 笑いヨガ ～

11月1日(金)笑いヨガティーチャーの青木しのぶさんを講師に迎え“笑いヨガ”を開催しました。当日の参加者はスタッフ合わせて29名。

講師の青木さんの元気な声、動きに最初は圧倒されましたが、しばらくすると参加者のみなさんも大きな声でわらい、動き、周りの人ともハイタッチしたりと楽しく笑顔でした。

笑って元気! 笑ってhappy!

“笑いヨガ”は笑う健康体操として、呼吸をしながら動きます。声を出して笑うことが、体にとってとてもいい健康法です。

みなさん大きな声でわらいましょう(*^▽^*)



～BBS交流会～

12月15日(土)昨年に続き当コミセンでの交流会。初めに実習室にて元力士の春日さん指導のもと、みんなでちゃんこ鍋の仕込みをし、できるまでの間はブラインドサッカーの基本を教えてもらい楽しい時間を過ごしました。ブラインドサッカーは鈴の入ったサッカーボールを使う競技でサポーターの声や鈴の音を頼りに行います。実際に目隠しをし、パートナー・周りの声を頼りにゲームをし、視覚障がいについて理解を深める体験をしました。その後みんなで作ったちゃんこ鍋を、楽しく話しながら食べるのは格別でした。



鳶巣地区社会福祉協議会へのご寄付お礼

【香典返し】

金一封 飯塚 文江様 (浜 組)
金一封 中島 薫様 (大寺谷)
金一封 原 和博様 (前口西)
金一封 佐藤 伸哉様 (阿土谷)
金一封 三代 弘明様 (湯ヤ川)

金一封 金築 暁様 (前口東)
金一封 西脇 純平様 (大寺谷)
金一封 佐藤 修治様 (門上)
金一封 佐藤 寿広様 (門前)
金一封 福田 祥子様 (櫻台第二)

ご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます。



この鳶巣社協だよりは、「出雲市社会福祉協議会の会費、寄付金及び共同募金を財源とした助成金」を財源の一部として発行しています。

♡ つ・な・ぐ ♡

“今”を思うとき

数年前のあるとき、目にしたそれを手帳に書き移し、年が新しく変わるたびに新しい手帳に移して、今も持ち歩いている。

禅語だという幾つかが並んでいるが、その中でもTVCMや映画にもなったことのある言葉『日日是好日』は、来る日も来る日も楽しく平穏なよい日が続くこと、一日一日を大切に生きる心構えだ。

今日という日は二度と来ない。どのような日でも自分にとってかけがえのない一日だから、一日一日を大切にということだが、そのことを普段あまり意識せずにいる自分を振り返らせられたのは、先日。楽しい時を過ごした一週間後に突然、旅立たれた人がいると知らされた。“今日は二度と来ないかけがえのない一日”を思わずにはいられなかった。

平穏な日常を過ごせることに感謝しつつ、今のこの時を大切に心に留めておこうと改めて自分に言い聞かせているこの頃だ。 (S・H)

【お問合せ】

鳶巣地区社会福祉協議会 (鳶巣コミュニティセンター内)

電話 21-0174 FAX 21-0176 E-mail tobisu-cc@local.city.izumo.shimane.jp

